



【かもた ゆき さん】北斗

●小学2年のときから民謡を歌いはじめ、さまざまな大会で入賞するなど活躍。昨年11月に千歳で行われた「NHKのど自慢」でも優勝しました。

民謡の心をより多くの方に
知ってもらいたい

日 本各地で歌い継がれてきた民謡。農作業や漁で仕事がかどるように歌ったり、おめでたいときに歌ったり、古くからさまざまな場面で歌われてきました。鴨田さんは民謡の歌い手として今後の活躍が期待される一人です。

「民謡を始めたのは小学2年生のとき。近所の民謡教室に通っていた祖母に誘われたのがきっかけです」と鴨田さんは民謡との出会いを話します。

高校2年生のときから本格的に民謡に取り組みはじめ、持ち前の強い向上心と熱心な練習が実を結び、さまざまな民謡大会で優勝するようになりまし
た。これまでも、北海盆唄全国大会成年の部で優勝したほか、昨年11月に千歳で行われたNHKのど自慢で優勝す

るなど輝かしい成績を残しています。現在は、毎日の自宅での練習のほか、週に2〜3回は師匠のもとでのけいこを続けています。

「民謡は心で歌うものと師匠に言われた言葉を大切にしています。いかに相手に気持ちを伝えるかが今の課題です」と歌唱技術の向上に意欲的に取り組みます。

「民謡を通じてさまざまな方に出会い多くのことを学ぶことで、人として成長できていると感じます。特に祖母や師匠には、歌だけではなくあいさつや礼儀など日ごろの姿勢の指導もしていただき、本当に感謝しています」と感謝の気持ちを忘れません。

「いつかは自分のショーを開きたいですね。ステージに立ってたくさんの

お客さんの前で歌いたい」と将来の夢を語ります。

鴨田さんは、全道・全国規模のさまざまな民謡大会のほか、地域の夏祭りや盆踊り大会などで民謡の歌い手としてボランティア活動にも積極的に参加しています。

「民謡を歌うことで昔の人たちの営みがよく分かります。また、歌い終わりが拍手をもらったときは本当に感動します。民謡は高齢者のものと感じる方が多いようですがそうではありません。民謡の良さを子どもたちや若い方にも広めたいと思います」と熱いまなざしで語ってくれました。

人 の い る 風 景

SCENERY OF PEOPLE



YUKI
KAMOTA

鴨田

有起

さん